

年 頭 の 挨拶

愛知県自動車車体整備協同組合 理事長 金原正和



新年明けましておめでとうございます。

愛知県自動車車体整備協同組合理事長の金原正和です。

2020年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年5月から新たな元号「令和」となり、二年目を迎えます。

本年は、いよいよ57年ぶりとなる東京オリンピックが開催されて、日本が世界中から注目され各国から大勢の人々が訪れ、昨年開催されましたラグビーワールドカップの熱狂を超える一年になると予想されます。

開催による経済効果が更なる景気回復となり、それが市民生活に反映されることを大いに期待するところです。

日本を取り巻く世界情勢は、米国との友好関係を保ってはいるものの、ここ数年は中国、韓国及び北朝鮮を含めた近隣諸国との関係に危機感が引き続いているところです。

自動車業界においては、100年に一度の大きな変革期に来ていると言われてはいますが、昨年5月に成立した道路運送車両法の一部を改正する法律において、運輸局長の認証が必要な分解整備の対象範囲を拡大し、名称も「特定整備」と改められ、我が業界においてもかつてない法改正となったところです。

その「特定整備」の具体的な業務範囲及び認証の要件については、「自動車整備技術の高度化検討会」において検討、とりまとめられた提言を基に、国土交通省は当該法律の施行に向けて、道路運送車両法施行規則等の一部を改正する省令（仮称）案及び自動車の点検及び整備に関する手引等の一部を改正する告示（仮称）案に関する意見の募集を昨年12月26日まで実施しておりました。

関係省令・告示公布予定は今年1月中の予定であり、特定整備制度の施行は5月前後と予想されます。

愛車協としても法改正内容のいち早い情報を入手し、組合員へ周知徹底を努めて新制度を上手く活用して事業の拡大に繋げていきたいと考えております。

4年目となります日車協連の「高度化車体整備技能講習」及び自主認定制度の「先進安全自動車対応優良車体整備事業者」の認定数も全国的に増加しており、今後更に伸びていくものと予想されております。

認定事業者の活動が愛車協の知名度を上げ、安心・安全な車体整備を提供する業界団体と事業所である事を多くのユーザー様にアピールする活動は、車体整備業としてのブランド化に繋がるとともに、信頼のできる認定事業者の安心感のある修理は業界の資質と信頼向上に繋がります。

厳しい現状ではありますが、魅力ある事業を積極的に推進し、愛車協を支えて頂いている組合員の皆様に貢献出来ればと思っております。

最後になりますが、本年も組合員、賛助会員及び関係団体皆様方の益々の発展とご活躍を祈念するとともに、役員一同、精一杯頑張りますので一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

